

神社殿録第三十八之卷

北陸道四

○能登國

能登國四十三座 大一座小四十二座

中臣朝臣連胤謹撰

和名鈔大海  
郷あり此處  
か尋ねし

能登は假字也、和名鈔、國名能登、國府在能登郡、式廿二、民部能登國、中、爲中國、同廿四、  
上行程上十八日、下九日、海路二十七日、和名鈔同也、但し拾芥抄、國郡能登、中、古事記、崇神御真  
木入日子印惠天皇、又娶尾張連之祖意富阿麻比賣、生御子、略大入杵命者、能登臣之祖也、  
舊事紀、國造能登國造、志賀高穴穗朝御世、活目帝皇子大入來命孫彥狹島命定、賜國造、○續日  
本紀、養老二年五月乙未、割越前國之羽咋、能登、鳳至、珠洲四郡、始置能登國、天平十三年  
十二月丙戌、能登國并越中國、天平寶字元年五月乙卯、略其能登、安房、和泉等國依舊分立、  
羽咋郡十四座 大一座小十三座

羽咋は波久比と訓べし、和名鈔、郡名羽咋、假字上式廿二、民部拾芥抄、國郡羽咋、國造舊事紀、本紀羽咋國造、泊瀬朝倉朝御世、三尾君祖石撞別命見石城別王定、賜國造、  
相見神社  
相見は阿布美と讀り、和名鈔、郷名大海、於保とあり、此地歟、若しならば相見も阿布美と訓べ  
し、○祭神相見神社、○在所分明ならず、相神村、見砂村、兩所に

志乎神社

志乎は假字也○祭神素盞鳴尊、大己貴命、健御名方命、應神天皇、神社○萩谷村に在す、上例

氣多神社 名神大

氣多は假字也○祭神天活玉命、兼兼加敷○宮記頭注、神社  
氣多、共に大己貴命といへり、○一宮村に在す、例祭月日、○式三、  
臨時名神祭二百八十五座、中能登國氣多神社一座、○當國一宮也、一宮

越中國射水郡、但馬國氣多郡氣多神社、各一  
連胤 按るに、氣多社祭神の事、(以下缺く)

神位

續日本紀、延曆三年三月丁亥、叙從三位氣多神正三位、文德實錄、嘉祥三年六月戊申、能登國  
氣多大神授從二位、三代實錄、貞觀元年正月廿七日甲申、奉授能登國正二位勳一等氣多神  
從一位、

官幣 神寶

續日本紀、寶龜元年八月辛卯、遣神祇員外少史正七位上中臣葛野連飯麻呂、奉幣帛於能登  
國氣多神、三代實錄、貞觀元年七月十四日丁卯、遣使諸社、奉神寶幣帛、神祇大祐正六位上  
大中臣朝臣豐雄爲氣多社使、

萬葉集十七  
卷、天平廿  
七、大御氣  
多、行可多  
路、古久比  
波、云々、  
印本名神大  
の三字、  
す、今、  
式、依、  
等、に、  
ふ、  
明、治、四、年、五、  
月、十、四、日、  
中、列、於、國、  
能、所、在、一、  
能、郡、宮、村、  
已、祭、神、  
記、云、大、